

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年1月15日

事業所名：スパーク京都左京店

保護者等数（児童数）：55 / 回収数：27 / 割合：49%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し広かったら良いと思う事もありますが、ぶつからない様に遊ぶのも学びかと思えます。</li> <li>たまにぶつかりそうになることがある。</li> </ul>	<p>温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。周囲の状況を把握しながら活動することは脳を広範囲に使う事になります。しかし、重大な怪我に繋がるような衝突は避ける必要があるため、衝突する危険がある場合は、職員が間に入るなど、安全管理には十分注意していきま</p>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23		3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当する先生によって、子どもの集中度合いが違う事があって気になる。</li> <li>活動時間中ずっと指導員の方が1対1で見ているので安心できます。</li> <li>最近新しく入った先生方は、名札や名前を伝えることがないため、顔と名前がなかなか一致せず、ちょっと残念だなと思えます。</li> <li>子どもの気分が乗らない日も最終的に楽しんで終わるので、先生方の専門性のレベルが上がっているのかなと感じます。</li> <li>更なる専門性でご助言等期待しております。いつもありがとうございます！</li> </ul>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。職員の個性を大切にしつつ、どの職員がお子さまと関わっても療育ない様に差が出ないように、日々療育練習や勉強会の機会を設けていきます。自己紹介と名札に関しては、大切なやりとりのひとつなので、今一度職員間で共通認識をもち、実施していきます。</p>
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23		3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴を脱ぐ場所や止まってほしい場所などにテープや足跡のマーク等を印してあげると伝わりやすいのではないのでしょうか。</li> <li>活動の道具は分かりやすくおいてあるが、全てが遊びの道具なので、特に片付ける場所といった表示がされていないという理解をしています。</li> </ul>	<p>玄関に印を付ける等、お子さまに分かりやすい環境を作る事を検討します。療育道具の収納場所はスタジオ内にか所のみとなっており、視覚的に片づけるアプローチ等は行っておりません。お子さまの様子を見つつ、可能であれば「お片付け」の声掛けをやりとりの中で入れるようにしています。</p>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27					
適切な 支援	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な表現での記入、作成で手立てや目標が明確化されるのかなと思います。どのように分析されているのか知りたい。</li> </ul>	<p>ありがたいお言葉をいただき、ありがとうございます。今後は、計画書や評価表の説明時に、スパークの発達段階表を用いて説明するようにします。</p>
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援ガイドラインの説明については、当初していただいたのかもしれないが、覚えておらず理解できていないと思うのですみません。</li> </ul>	<p>計画書説明時に、必要に応じて説明を行います。</p>
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25		1	1		

の 提 供	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある意味毎回違うプログラムであり、それがおもしろいと思うし、子どもに添いながらも、こちら側に添わせていく過流も親の学びになっているので、有難いです。</li> <li>・3年間プログラムの変化はあまりない。その日の子どもの動きに添う形。</li> </ul>	子どもの興味を大切にしつつ、お子さん1人1人に合った支援方法で療育をを提供できるよう、取り組んで参ります。また、保護者様にしっかり狙い等伝えられるよう、再度職員で、勉強会等を開催し、知識を深めていきたいと思えます。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3	5	14		
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインの説明については、当初していただいたのかもしれないが、覚えておらず理解できていないと思うのですすみません。</li> </ul>	個別支援計画説明の際に、必要に応じて説明を行う。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	5	3	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に褒めている姿をみて、「こんなこと褒めるだけでいいんだ!!」と学びました。子どもが楽しみにしているのは、褒めてもらえる、認めてもらえる居心地の良さなのかと感じています。</li> <li>・ペアトレの実施のある施設ではないと理解しています。（定期面談でアドバイス当は受けていると思います。）</li> <li>・保護者向けの声掛け等のトレーニングや制度の説明、年齢ごとに抱えそうな子どもの課題などに対する講座のようなものがあれば良いと思いました。</li> </ul>	保護者様の様子を見つつ、療育に参加いただく中で、「なぜこのような関わりをするのか」「今〇〇してみましょう」といったお声掛けを可能な限り実施していければと考えております。その為に、職員の研修も行っています。また、ご希望があれば、面談の時間を設けていきます。講座に関しましては、現在予定しておりませんが、今後、開催を検討していきたいと思えます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	26			1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画作成の時以外にも、ゆっくり育児の話ができる機会が月1くらいあると良いと思います。</li> </ul>	今後計画書の説明時以外にも、ご希望があれば、面談の機会をこまめに設定していきたいと思えます。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	7	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク（外遊び）等に参加していると、保護者同士お話しする機会もあったのかもしれないと思えます。</li> <li>・交流はまったくない。話す機会はなし。</li> </ul>	父母の会に関しては、現在検討していませんが、ご希望によっては今後開催を検討していきます。	
16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園へ行き渋っている時期に、とても丁寧に対応していただきました。心身ともに疲れていたため、お話を聞いていただけるだけで、気持ちが落ち着き、前向きに行動できたと思えます。ありがとうございます。</li> <li>・相談があっても「また支援者たちに伝え、様子を見ます」といって、直接的な助言、解決策などは提案されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがたいお言葉をいただき、ありがとうございます。これからも、保護者様とともに、「お子さまの今の様子」に全力で取り組んで参りたいと思えます。</li> <li>・ご相談いただいたあとに、どのようなアクションをとっていくか等、進捗をお伝えできておらず、申し訳ございませんでした。今後、職員に伝えた後のアクションや進捗等、お伝えできるように改善していきます。</li> </ul>	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24			3		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	4		2	・時々、書面をいただきます。子どもも楽しみにしています。	今後も楽しみにしていただけるようなお便り等を作成していきます。また、SNSも更新し、今の事業所の状況をお伝えできるようにしていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	2	1	5	・紙面での情報はありますが、訓練は参加したことがない。 ・マニュアルは設定されているが、訓練の有無は知らない。	マニュアルは玄関に設置しております。また、避難訓練等についても、実施後はSNSや店頭で報告をしておりますが、お声掛けを徹底し、皆様に知っていただけるよう、改善していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1	3	11		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26			1	・「毎日でも行きたい」と言っています。小学生向けのスパークができたら有難いです。 ・とても楽しく通っており、それが何よりありがたいと思っています。 ・子どもは毎回とても楽しみに通っています。 ・週2～3回あっても良いくらい楽しみにしています。	これからもお子さまが、楽しい環境の中で、「様々な関わり・感情」を経験できるように、職員一同全力で取り組んで参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	27				・場所やマンパワーの確保など、大変なことだらけで簡単ではないと思いますが、世の中がスパークだらけになったら良いのにと心願っています。 ・どの療育士の方も常に一生懸命取り組んでくださっています。このコロナ禍で他者との密接な交流に限られる中で、発達を促す貴重な場となっており、心から感謝しております。 ・母子ともに感謝しています。いつも本当にありがとうございます！	ありがたいお言葉をいただき、本当にありがとうございます。 人事異動などもあり、皆様にはご負担をおかけすることもありましたが、私たち自身、常に学び、成長できるよう、今後も全力で取り組んで参ります。 スパークでは人との関わりを大切に、感情（情緒）の発達を促していきます。引き続き、感染予防を徹底しつつ、どのように工夫することで、お子さまの経験を守っていく事ができるかを試行錯誤していきます。